

学校法人北里研究所報

新年号

北里研究所旧本館（博物館明治村）

謹賀新年

北里研究所は、本年11月5日に創立110周年を迎えます
来る7月3日には、創立者北里柴三郎博士の肖像がデザインされた新千円札が発行されます

年頭のご挨拶

— 法人創立110周年を迎えて —

学校法人北里研究所理事長

小林 弘 祐



新年あけましておめでとうございます。

2022年の北里大学創立60周年に続き、今年2024年は北里研究所が創立110周年を迎えます。幸運にも周年記念となる節目の年に学祖北里柴三郎博士の肖像画がデザインされた新日本銀行券が発行されます（7月3日発行予定）。この大変栄誉なニュースをきっかけに、世の中の多くの方々に北里博士と北里研究所を知っていただき、教職員、学生、卒業生にとっては、学校法人北里研究所の一員であることを誇りに思う機会になることを願います。

2020年7月にスタートした第21期理事会も、今年は集大成の年となります。第21期理事会施策には、「盤石な財務体質を確立し、より質の高い教育・研究・医療を支える体制を築くこと」、そして「将来の学校法人北里研究所を担う次世代の人材を育成すること」を主軸に様々な施策を掲げました。相模原キャンパスでは、建設中の3学部の校舎がいよいよ竣工予定です。また4月には、新潟キャンパスに新学部 健康科学部が誕生し、相模原キャンパスには大学院未来工学研究科が加わります。新たな学部・大学院が加わることで、既存の学部・研究科においても、連携による新たな学びを提供できるとともに、大学ひいては法人全体のチーム力が強化されることを期待しています。

さらに、初の附属中学校・高等学校の実現を目指し、昨年11月に本法人を存続法人とする吸収合併に向けた協議を開始する基本合意書を締結しました。秘密保持契約のため突然のプレスリリースで法人内外の方々にお知らせする事になってしまいましたが、何卒ご理解ください。今後、協議を進め、適切な時期に合併に係る最終契約を締結する予定です。中学校・高等学校から大学・大学院まで、一貫性を保ちながら特色ある教育活動を展開し、長期的な視野に立って優れた人材の育成・輩出を目指しています。

また、これからの時代を担う40歳以下の構成員を中心に幅広い世代が参画している将来構想（U40）検討委員会では、オンライン会議やチャットツールなどを用いて従来の会議形式に捉われないフレキシブルな方法で意見がまとめられ、3月に答申が提出される予定です。多くの改革の実現は、何より教職員一人一人の日頃の努力と研鑽の賜物であると感じます。

さて、学祖北里柴三郎博士が北里研究所を創立された1914年は、大量生産である第2次産業革命の時代でした。その後の電子工学や情報技術を用いた一層のオートメーション化である第3次産業革命に続き、私たちはI o T・ビッグデータ・A I活用による第4次産業革命のさなかにいます。なかでもA Iの進化は、驚異的なスピードで私たちの生活にも大きな影響を及ぼし、5年、10年先の未来予測も難しい時代となりました。

一方、昨年の日本の出生数は70万人台前半と、政府の予想を大幅に下回る数字であり、少子化の波も想像以上に速いスピードで押し寄せ、学校法人を取り巻く環境はかつてないほど厳しい状況にあります。情報を確実に捉え、時代の変化に合わせて絶えず改革をしながら、教育・研究・医療をより一層充実させ、法人も進化していかなければなりません。

冒頭に触れた新日本銀行券の改刷にあたり、財務省HPに掲載された北里博士の紹介欄には、「世界で初めて破傷風菌の純粋培養に成功、破傷風血清療法を確立。また、ペスト菌を発見。私立伝染病研究所、私立北里研究所を創立。後進の育成にも尽力。」と紹介されています。北里博士は、多くの偉業を成し遂げるとともに、“後進の育成にも尽力”されました。私たちは後進の育成という大変重要な使命を担っています。これからも北里研究所の歴史を後世に繋げるべく、今年も着実に歩みを進め、ALL KITASATOで新しい時代を切り拓いていきましょう。

末筆ながら、皆様方とご家族がお健やかに一年を過ごされますようお祈りし、新年の挨拶に代えさせていただきます。

年頭のご挨拶

— 新時代にむかって動く —

北里大学学長

島袋香子



新年あけましておめでとうございます。

教職員の皆様には、様々な社会的・経済的問題が出現する中で、本学がもつ課題への取り組みに向けて粛々と業務を全うされていることに、心より感謝申し上げます。

昨年は、本学にとって新しいことに次々に挑戦する年でした。まず、4月に未来工学部がスタートしました。未来工学部は教職員と学生の協働により、魅力ある学部を作り上げていくものと思います。学部教育の始動と同時に大学院修士課程の開設準備に入りましたが、無事文部科学省の認可を得て2024年4月より大学院教育もスタートいたします。学部生が卒業する頃までには博士課程を開設する予定です。また、2022年より開始した「北里大学数理データサイエンスAI教育プログラム」も文部科学省の認定を得る事が出来ました。各学部の学生はデータサイエンスに関する基礎を学び専門領域の学習に入ります。データサイエンスを駆使した学生による連携・協働が、各専門領域の発展に繋がる事が期待されます。

次に、新潟キャンパスにある保健衛生専門学院を大学教育に取り込むべく改組し、健康科学部として文部科学省の認可を受けました。保健衛生専門学院は2026年度にその歴史を閉じますが、多くの卒業生が新潟の地で活躍しておりますので、健康科学部はその理念を引き継ぎ、さらなる発展に向けてICTを活用した地域保健・医療を担う人材の育成に挑みます。学科は看護学科と医療検査学科の2学科になりますが、新たな視点で地域保健・医療に切り込む人材が育つものと期待いたします。大学は、2024年度から9学部でスタートいたしますが、各学部の特徴を活かした連携・協働が促進されるよう尽力いたします。

各学部に膨大な資料作成をお願いして受審した大学基準協会の機関別認証評価は、本学の特徴をあらためて認識する機会となりました。正式結果は3月になります。本学は教育の充実に向けて様々な取り組みをしておりますが、まだまだその良さを明示できていないようです。各学部の特徴が明示化され、社会の皆様には「北里ブランド」として本学の良さをアピールできるよう努力していきたいと思っております。新たな課題への挑戦は2024年度も続きます。獣医学部生物環境科学科をグリーン環境創成科学科に改組し、未来の健全な生態系を創造するために問題解決能力を備え、グリーンバイオテクノロジーに関する専門性を身に付け、社会への提言や技術提供のできる人材育成に向けて、相模原キャンパスにおける教育を開始する予定です。2025年度開設をめざし、文部科学省から認可を得るべく奮闘しております。

一方、大学生活に目を向けると、授業は全て対面に戻り、病院実習前に行われていたPCR検査は終了となりました。課外活動も活発となり、各キャンパスで行った学園祭では、模擬店が解禁となっています。高校生の頃から行動制限に耐えてきた学生達です。大いに大学生活を謳歌してほしいと思っております。しかし、コロナは消滅したわけではなく、インフルエンザ等の感染症流行も続いており、熱帯化による新たな感染症の発生にも注意が必要です。生命科学の総合大学の学生として感染症に対する基礎知識をしっかり身に付けて、対応できるよう教育を強化していきたいと思っております。さらに、時間が経過する中で潜在化しそうな課題に、学生が持つ経済的問題と心の問題があります。コロナはコミュニケーション能力にも影響しており、「さびしさ」が犯罪やドラッグを誘引する可能性があるため、教職員の皆様には学生の状況を注意深く見守って対応していただきたいと思っております。

社会は急速に動いておりますが、教育・研究の充実に向けて着実に対応できるよう尽力いたしますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年記念事業の推進状況

新日本銀行券発行記念フォーラム^{110×60}

北里柴三郎博士の肖像がデザインされた新日本銀行券が発行されることを記念し、北里柴三郎博士の功績を一層顕彰することを目的に、2023年6月13日（第1回）、11月5日（第2回）に新日本銀行券発行記念フォーラム^{110×60}を開催しました。

※第1回フォーラムの詳細は、[北里研究所報臨時号（2023年6月）](#)、第2回フォーラムの詳細は、[北里研究所報臨時号（2023年11月）](#)に掲載しています。

北里柴三郎博士特別展示

新日本銀行券発行・流通という大きな社会的トピックに関連して、北里柴三郎記念博物館による特別展示を実施しています。

第1弾は、2023年6月13日～10月31日まで「未来への挑戦、原点は北里柴三郎」をテーマに開催しました。現在開催中の第2弾は、「感染症の撲滅に向けた実践」北里柴三郎「予防医学」を提唱」をテーマに2024年2月29日まで特別展示を行っています。

※第1弾特別展示の詳細は、[北里研究所報臨時号（2023年6月）](#)、第2弾特別展示の詳細は、[北里研究所報臨時号（2023年11月）](#)に掲載しています。

未来工学部開設記念式典

2023年4月1日、帝国ホテル東京にて、北里大学8番目の学部として誕生した未来工学部の開設記念式典を執り行いました。

※詳細は、[北里研究所報臨時号（2023年4月）](#)に掲載しています。

医工連携拠点整備事業

相模原キャンパスでは、先進的設備を導入した医工連携の拠点となる未来工学部棟、医学部棟、看護学部棟の新校舎建設が進んでおり、本年1月に看護学部棟、2月に未来工学部棟、6月に医学部棟が完成する予定です。

北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年記念事業に関する内容や実施状況は、[特設サイト](#)にて随時公開していきます。

第3のロゴマーク（CI）開発

－「北里ブランドマーク」の策定－

北里研究所創立110周年・北里大学創立60周年とさらにその先の未来に向けて、「All Kitasato」ブランドをさらに推進するため、Corporate Identity（CI）の手法を用いて、「All Kitasato」を表す新たなシンボルとして、「北里ブランドマーク」を策定しました。



【デザイン骨子】

コンセプト「いのちの知をひらく」を基に、2つの「ひらく」が循環し、それらが境界を越えて知を開く、さらには、重ね合わせて知を拓く姿をイメージし、その中央には学校法人北里研究所の伝統及び知の象徴とも言える破傷風菌を取り込んだデザインとしている。

ブランドコンセプト

「いのちの知をひらく」

知の新たな発見は「拓く」こと。

北里柴三郎博士は世界で初めて、破傷風菌の純粋培養に成功した。

知の共有と実践は「開く」こと。

北里柴三郎博士は破傷風の治療法を確立し、病から人々を救う道を見出した。

そして、開かれた知は、別の知と出会うことで新たな知を拓く。

これからの学校法人北里研究所は、生命科学のまわりに広がる豊かな知、「いのちの知」をひらく。

北里ブランドマークができるまでの経緯やブランドコンセプトの詳細は、[KITASATO BRANDING PROJECT ブログ](#)に公開しています。